



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 セーフィー株式会社 上場取引所 東
コード番号 4375 URL https://safie.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐渡島 隆平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 兼 CFO (氏名) 古田 哲晴 TEL 03-6311-4570
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	10,525	24.4	△366	—	△389	—	△1,265	—
2023年12月期第3四半期	8,458	26.2	△838	—	△852	—	△853	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △1,244百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 △853百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△22.89	—
2023年12月期第3四半期	△15.66	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	10,524	8,865	83.9
2023年12月期	11,701	10,016	85.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 8,831百万円 2023年12月期 10,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	14,200	20.2	7,070	24.7	△850	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) Kix株式会社、SAFIE VIETNAM CO., LTD.

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	55,363,850株	2023年12月期	55,256,695株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	19,807株	2023年12月期	14,293株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	55,290,981株	2023年12月期3Q	54,501,870株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

当社は、2024年11月14日(木)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料及び動画情報は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結範囲の重要な変更)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「映像から未来をつくる」をビジョンに掲げ、家から街まであらゆるシーンの映像をデータ化することで、人々の意思決定を支援するクラウド録画型映像プラットフォーム「Safie（セーフイー）」を開発・運営しております。「Safie」は高画質・安価・安全で、誰でも簡単にスマートフォンやパソコンで使える防犯カメラサービスとして、小売・飲食・サービス・建設・物流・製造・インフラ・公共・医療などの幅広い業界で活用いただいております。日本国は2040年には働き手が現在の8割になるという「8掛け社会」が到来する（注1）と推定され、人口減少から生じる労働供給制約社会を迎えることは確実であり、人々の生活に多大なる影響を及ぼすと考えられています。「Safie」では近年高まる防犯カメラとしての用途にとどまらず、遠隔での状況確認や業務ツールとの連携による業務効率化、AIを活用した映像解析による異常検知・予測などのニーズが急速に拡大しており、このような労働力不足をはじめとする社会的な課題を解決できるソリューションの開発、提供を進めております。

当第3四半期連結累計期間では、当社グループの成長戦略として掲げている（1）課金カメラ台数の増加（2）課金カメラ台数1台あたりの単価を向上させるソリューション提供（3）より多くのソリューションを生み出すためのプラットフォーム基盤構築の強化に取り組んでいます。

課金カメラ台数増加に関しては、提供する業界や地域の拡大に努めています。建設インフラ業界の「ネクスコ東日本グループ」では、これまでの道路工事における「遠隔臨場」だけでなく、保守点検領域においてもカメラを活用した「遠隔〇〇」が広がり、台数が増加しています。また、2024年9月にオープンしたグラングリーン大阪内に関西支店を移転しました。今後さらに、関西エリアに商圏を持つ顧客獲得にも力を入れています。

ソリューション提供に関しては、小売・サービス業を中心に、AIソリューション「AI-App（アイアップ）」の人数計測機能の導入が進んでいます。アミューズメント業界の「GiGOグループ」では、カメラ映像を活用して人数を計測し、リアルタイムに来店状況を把握できる環境を整備することで、データドリブンな店舗運営に取り組んでいます。また、当社グループが出資したタイムリーブ株式会社と協業で提供している遠隔接客ソリューション「RURA（SF）（ルーラ エスエフ）」も、提供開始直後から導入が広がっています。「スポーツクラブルネサンス」では、店舗の受付業務を在宅勤務の従業員が遠隔から対応し店舗運営の業務生産性向上に成功しています。

加えて、より迅速かつ容易に、個別最適化したAIを生み出すことのできるプラットフォーム構築を強化しています。2024年10月には国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「データ・生成AIの利活用に係る先進事例に関する調査」において当社の「AIソリューションプラットフォーム事業案」が採択されました。この機会を通じて、データホルダーやAI開発者との“三方よし”のエコシステム構築を加速し、あらゆる業界の“現場DX”推進に邁進してまいります。

当社KPIであるARRは2024年9月末時点で10,957百万円（2023年9月末比27.4%増、注2）、課金カメラ台数は275千台（2023年9月末比25.6%増、注3）になりました。カメラ等の機器販売や設置作業費などが含まれるスポット収益は2,939百万円となり、クラウド録画サービス、一部のカメラのレンタルサービスや、LTE通信費、画像解析サービス等を含むリカーリング収益は7,586百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,525,986千円（前年同四半期比24.4%増）、営業損失366,295千円（前年同四半期は営業損失838,857千円）、経常損失389,259千円（前年同四半期は経常損失852,759千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,265,465千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失853,620千円）となりました。

なお、当社グループは、映像プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. 出典元：リクルートワークス研究所：「未来予測2040 労働供給制約社会がやってくる」
2. ARR：Annual Recurring Revenue。対象月の月末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。MRRは対象月末時点における継続課金となる契約に基づく当月分の料金の合計額（販売代理店経由の売上を含む）。
3. 課金カメラ台数は、各四半期に販売したカメラ台数ではなく、各四半期末時点で稼働・課金しているカメラ台数。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,827,265千円となり、前連結会計年度末に比べ427,042千円減少いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産が119,266千円増加、その他の流動資産が67,069千円増加、現金及び預金が597,678千円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は696,249千円となり、前連結会計年度末に比べ750,693千円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が751,290千円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は10,524,156千円となり、前連結会計年度末に比べ1,177,376千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,600,199千円となり、前連結会計年度末に比べ25,339千円減少いたしました。これは主に、買掛金が104,403千円増加、1年内返済予定の長期借入金が90,276千円減少、その他の流動負債が36,291千円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は57,993千円となり、前連結会計年度末に比べ1,059千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が1,104千円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は1,658,193千円となり、前連結会計年度末に比べ26,398千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,865,963千円となり、前連結会計年度末に比べ1,150,977千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失1,265,465千円を計上したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.9%（前連結会計年度末は85.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,216,707	6,619,029
売掛金及び契約資産	1,713,219	1,832,485
電子記録債権	10,300	11,300
商品	968,061	951,953
その他	349,749	416,818
貸倒引当金	△3,730	△4,322
流動資産合計	10,254,307	9,827,265
固定資産		
有形固定資産	—	597
投資その他の資産	1,446,942	695,651
固定資産合計	1,446,942	696,249
繰延資産	282	642
資産合計	11,701,532	10,524,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	702,369	806,772
1年内返済予定の長期借入金	91,656	1,380
未払法人税等	53,602	35,731
賞与引当金	30,000	44,695
その他	747,911	711,620
流動負債合計	1,625,538	1,600,199
固定負債		
長期借入金	2,548	1,444
その他	56,504	56,549
固定負債合計	59,052	57,993
負債合計	1,684,591	1,658,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,584,350	5,612,741
資本剰余金	8,069,732	8,098,123
利益剰余金	△3,642,070	△4,907,536
自己株式	△167	△216
株主資本合計	10,011,844	8,803,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,144	28,435
為替換算調整勘定	—	△30
その他の包括利益累計額合計	1,144	28,405
新株予約権	3,952	10,258
非支配株主持分	—	24,187
純資産合計	10,016,941	8,865,963
負債純資産合計	11,701,532	10,524,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,458,939	10,525,986
売上原価	4,374,896	5,270,218
売上総利益	4,084,043	5,255,768
販売費及び一般管理費	4,922,900	5,622,064
営業損失(△)	△838,857	△366,295
営業外収益		
受取利息	35	261
受取補償金	2,691	1,453
為替差益	—	6,145
その他	2,506	3,062
営業外収益合計	5,233	10,923
営業外費用		
支払利息	250	231
持分法による投資損失	11,557	23,587
為替差損	5,134	—
投資事業組合運用損	432	5,873
その他	1,761	4,195
営業外費用合計	19,136	33,887
経常損失(△)	△852,759	△389,259
特別利益		
固定資産受贈益	1,994	—
固定資産売却益	—	799
特別利益合計	1,994	799
特別損失		
減損損失	—	50,205
投資有価証券評価損	—	828,074
特別損失合計	—	878,279
税金等調整前四半期純損失(△)	△850,765	△1,266,739
法人税、住民税及び事業税	2,855	4,538
法人税等合計	2,855	4,538
四半期純損失(△)	△853,620	△1,271,278
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△5,812
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△853,620	△1,265,465

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△853,620	△1,271,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	594	27,291
為替換算調整勘定	—	△30
その他の包括利益合計	594	27,260
四半期包括利益	△853,025	△1,244,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△853,025	△1,238,204
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△5,812

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、Kix株式会社及びSAFIE VIETNAM CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間にかかる減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
減価償却費	12,059千円	2,249千円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、映像プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。